

平成 27 年度 春期 システム監査技術者試験 解答例

午後 I 試験

問 1

出題趣旨	
仮想化ソリューションの成熟に伴って、仮想化したデスクトップ環境をサーバ側で一元管理する VDI への注目が高まっている。VDI 導入によって、TCO 削減、情報漏えいの防止、PC 運用管理の効率向上、業務継続の実効性強化など、多くの課題が解決できると期待されている。このために、近年、多くの企業で VDI 導入が進んでいるが、実際には、想定していなかった運用上の問題が発生し、その対応に苦慮しているケースも少なくない。 システム監査人は、VDI 導入の企画段階でシステム監査を実施することによって、VDI 導入のリスクが適切にコントロールされているかどうかを検証する必要がある。 本問は、VDI 導入に当たって検討すべき内容や新たに生じるリスクの知識、及び、リスクに応じたコントロールとそれが存在しない場合のビジネスへの影響を踏まえて複数の観点から改善提案を行うことができるかどうかを問う。	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問 1	VDI サーバ、ネットワークに掛かる負荷に基づく検討	
設問 2	ウイルス対策ソフトによる VDI サーバの負荷増加が、パフォーマンスに影響を与えるから	
設問 3	パフォーマンス悪化又は障害の兆候を早期に検知して通知する機能を追加する。	
設問 4	(1) 業務継続に必要な VDI サーバの仕様と数を見積もり、平常時と同等の業務遂行ができるようにする。	
	(2) 継続が必須な業務を識別して VDI サーバの仕様と数を再検討し、VDI 導入コストの最適化を図る。	

問 2

出題趣旨	
事業会社などの情報システム関連業務は、外部委託される傾向が強まっている。また、業務委託先は、委託された業務を他社に再委託する場合もある。さらに、業務委託先、再委託先などにおいて、契約社員、派遣社員などが委託された業務を担当する場合も増えている。このような状況において、業務委託にかかる管理の不備を原因とした情報セキュリティ事故の発生も少なくない。 システム監査人は、業務委託先や再委託先における情報セキュリティ管理状況の確認を含めて、業務委託元における情報セキュリティ管理状況を確認する必要がある。 本問は、外部委託された情報システム関連業務の情報セキュリティ管理状況を監査するに当たり、適切な監査要点及び監査手続を策定し、有効な改善提案を行うことができるかどうかを問う。	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問 1	B 社通販課員は、依頼されたテストデータが業務委託先で受領されたことを適切に確認しているか。	
設問 2	マスク処理結果票	
設問 3	① ・業務体制図上の全ての従業員について教育実施記録があるか。	
	② ・従業員の着任年月と教育実施年月が一致しているか。	
設問 4	受託業務担当の従業員に対する教育実施記録を網羅的に確認する必要があるから	
設問 5	再委託先など委託業務体制が変更された場合に、速やかに情報セキュリティ確認書を提出させる。	

問3

出題趣旨
情報システムの企画段階では、通常システム化の目的や投資効果に関して詳細な検討が行われるが、稼働段階になると当初設定したシステムの開発目的の達成度合いの検証や、問題がある場合の対策検討などは曖昧になりがちである。 “システム監査基準”では、“組織体が情報システムにまつわるリスクに対するコントロールを適切に整備・運用する目的”の一つとして、“情報システムが、組織体の目的を実現するように安全、有効かつ効率的に機能するため”とされている。 システム監査人は、システムの有効性及び効率性の観点から監査を行う必要がある。 本問は、システムの稼働後において当初設定されたシステム化の目的の達成度合を対象とする監査手続を問う。

設問	解答例・解答の要点	備考
設問1	“各事業本部及び各子会社が、それぞれの特性に応じた独自の分析を行えること”に関する調査結果	
設問2	子会社の重要な情報が経営会議資料に適切に反映されず、誤った経営判断を行うリスク	
設問3	開発プロジェクトの当事者が作成した調査報告書であり、調査の客観性が担保されないから	
設問4	① ・各子会社に対して、月次報告の研修を適切な時期に実施していること ② ・アクセスログを利用し、各子会社の利用状況を分析していること	